

茨城県民間保育協議会青年部広報誌

イシズエ

礎

第43号

新入部員挨拶



今年度より青年部に加入させていただきました、牛久みらい保育園の中村康範と申します。青年部の先輩方にご指導いただきながら学び、活動を通して皆さまのお役に立てるように一生懸命頑張ります。どうぞよろしくお願いいたします。

本園は柏市の社会福祉法人童心会が運営、平成25年に牛久市に開園、私は今年度より園長を務めております。未熟者の新米園長で分からないことも多いですが、いつも明るく、元気で、優しい青年部の頼もしい先輩方にたくさんご相談、ご指導いただきながら、見聞を広げて、園運営にも活かしていきたいと思っております。よろしく

牛久みらい保育園 園長 中村 康範

茨城県日立市にあります豊浦さくら保育園の佐藤孝政です。子ども子育て支援新制度の施行並びに社会福祉法の改正に伴う保育園・幼稚園業界の大きな変動の流れの中で、制度に振り回され過ぎることなく本来あるべき理想とする保育・幼児教育を実現できるように、日々精進して参りたいと思っております。

人口減少と少子化が共に訪れる時代を迎え、幼児教育の無償化にあわせて保護者による選別・淘汰がより厳しくなる環境の中で、選ばれ続ける園とはなにか、これから社会に求められる園とはどういうものかを常に考えながら、茨城県民間保育協議会の青年部活動に取り組んで参りたいと思っておりますので、何卒ご指導ご鞭撻の程どうぞよろしくお願いいたします。

豊浦さくら保育園 園長 佐藤 孝政



今年度より青年部に入部させていただきました谷島宏実です。筑西市のしろはと保育園副園長として3年目の新米です。教育現場で過ごしてきたものの、保育は知らないことばかりで、毎日新たな課題と格闘する日です。この保育変革期に諸先輩方から様々な知識や経験を学ばせていただける貴重な機会を得られ、嬉しく思います。微力ではありますが、少しでも先輩方に追いつけるよう一生懸命努力していく所存ですので、ご指導ご鞭撻の程よろしくお願いいたします。

しろはと保育園 副園長 谷島 宏実

茨城県民間保育協議会青年部



皆さんはじめまして。笠間市の岩間保育園で事務員を務めております柴山と申します。昨年度より保育事務の仕事に従事することとなりました。当初は前職と全く異なる業務に戸惑いもありましたが、子ども達の純粋な笑顔や健やかな成長、発達を身近に感じることができ、充実した毎日を過ごしております。

このたび年度途中からではありますが、青年部へ入部させていただくことになりました。所属は渉外委員会です。まだまだ分からない点、至らぬ点等あるかとは思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。青年部での活動を通じて他園の皆様との交流を深めるとともに自分自身の成長、園の発展に寄与していければと思います。

岩間保育園 事務員 柴山 純

今年度、茨城県民間保育協議会青年部へ入会させていただき運びとなりました、水戸市にあります元吉田さくら保育園の佐藤聖悟と申します。

当園は平成28年3月に開園した保育園でございまして、まだまだ右も左もわからない状態でございます。青年部の活動を通して、諸先輩方からご指導ご鞭撻を賜り、健全な保育園運営を進めてまいりたい所存でございます。今後ともどうぞよろしくお願い致します。

元吉田さくら保育園 園長 佐藤 聖悟



今年度より、青年部に入会させていただきました、河野正亮と申します。

ひたちなか市にございます、なかや保育園で園長補佐をしており、日中は学童クラブの指導員もしております。

今年の5月に百貨店から保育の世界に入った為、知識・経験等すべてに於いて未熟です。青年部では、活動を通して様々な経験をし、諸先輩方から様々な事を学ばせていただきたいと存じます。

青年部の一員として、僅かながら尽力して参りますので、ご指導、ご鞭撻の程、宜しくお願い申し上げます。

なかや保育園 園長補佐 河野 正亮

「礎」の歴史

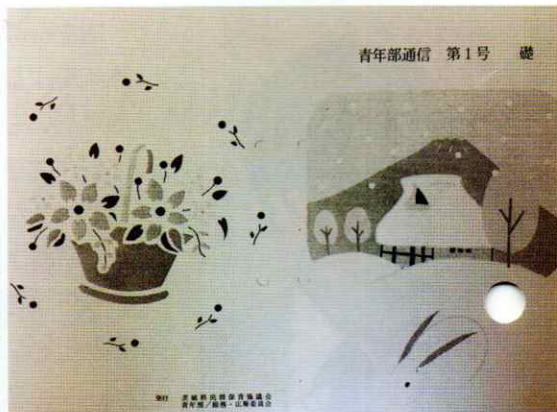
【茨城青年部の発足】
平成3年8月20日に発足
発足から27年が経ちます。

【委員会について】
青年部発足当初は、調査研究委員会のみでのスタート。その後に研修委員会、次いで、総務・広報委員会ができた。

【平成7年頃の組織】
調査研究委員会：
茨城県市町村特別保育事業実施状況・保育料最高額調査
研修委員会：
県内先進保育園の視察研修
総務・広報委員会：
全体会・役員会・懇親会の開催、茨城県民間保育協議会青年部名簿作成

【発行年月日一覧】

平成9年12月	「礎」第1号発行	平成22年3月	「礎」第22号発行
平成10年12月	「礎」第2号発行	平成22年7月	「礎」第23号発行
平成11年7月	「礎」第3号発行	平成22年12月	「礎」第24号発行
平成12年2月	「礎」第4号発行	平成23年3月	「礎」第25号発行
平成12年12月	「礎」第5号発行	平成23年8月	「礎」臨時号発行
平成13年5月	「礎」第6号発行	平成23年8月	「礎」第26号発行
平成14年7月	「礎」第7号発行	平成23年9月	「礎」臨時号発行
平成15年1月	「礎」第8号発行	平成23年12月	「礎」第27号発行
平成15年6月	「礎」第9号発行	平成24年1月	「礎」臨時号発行
平成15年10月	「礎」臨時号発行	平成24年3月	「礎」第28号発行
平成16年6月	「礎」第10号発行	平成24年7月	「礎」第29号発行
平成16年9月	「礎」第11号発行	平成24年12月	「礎」第30号発行
平成17年2月	「礎」第12号発行	平成25年3月	「礎」第31号発行
平成17年8月	「礎」第13号発行	平成25年8月	「礎」第32号発行
平成17年12月	「礎」臨時号発行	平成25年12月	「礎」第33号発行
平成18年3月	「礎」第14号発行	平成26年6月	「礎」第34号発行
平成18年9月	「礎」第15号発行	平成26年12月	「礎」第35号発行
平成19年3月	「礎」第16号発行	平成27年7月	「礎」第36号発行
平成19年10月	「礎」第17号発行	平成27年12月	「礎」第37号発行
平成20年3月	「礎」臨時号発行	平成28年7月	「礎」第38号発行
平成20年6月	「礎」第18号発行	平成28年12月	「礎」第39号発行
平成20年12月	「礎」臨時号発行	平成29年8月	「礎」第40号発行
平成21年3月	「礎」第19号発行	平成30年2月	「礎」第41号発行
平成21年6月	「礎」第20号発行	平成30年10月	「礎」第42号発行
平成22年1月	「礎」第21号発行		



「礎」第1号提供 北浦こども園 藤崎 貴英 先生（青年部相談役）



第1号 青年部通信 平成9(1997)年12月20日



自分自身の保育園として 部長：東ヶ崎 静仁

平成3(1991)年8月20日当青年部が発足し、後継者と言われる部員が年々増えてきました。今までは、保育園を運営していれば、休園・廃園とは縁遠いと思われてきました。しかし、これからは経営という観点をいれざるを得なくなってきました。児童福祉法が一部改正され、保育園としても平成10年4月より措置入所から利用者が選択するようになります。それに伴う情報公開等が義務づけられるなど大きな転換期を迎えることになります。保育園は子供を預かるのみならず、子育て支援を社会から求められています。創設者の実績を基盤として、受け継ぐ青年保育者は経営者として、自分自身の保育園を創っていかなければなりません。将来を担う青年部は、一般社会・福祉全体からかけ離れないよう見つけ保育園としての役割を果たせるよう活動したいと思っております。今後とも皆様の参加と、ご協力・ご支援をお願い申し上げます。

研修報告

- H9. 6. 19/20 第17回 全国私立保育園連盟青年部会議 (沖縄) 5名参加
- H9. 9. 9~11 第19回 全国青年保育者会議・愛媛県松山大会 9名参加
テーマ 『選ばれる保育園』 この瞬間から！



委員会活動

- ★ 調査・研究委員会 規制緩和・情報公開についてのアンケート作成
- ★ 総務・ 青年部・会員名簿(顔写真付き)の作成
- ★ 広報委員会 青年部通信・礎 第1号発行

★ 研修委員会 H9. 7. 28/29 視察研修会 東京 こどもの城 神奈川県・五反田保育園視察 夜は屋形船にて懇親会

五反田保育園を視察して

- ・ 都市部における保育のあり方等参考にしました。
- ・ 何処へ行っても、子どもたちの笑顔は、変わりませんでした。
- ・ 園庭の面積から、都市部の悩みを感じました。
- ・ 子どもにとっての理想的環境等考え直す必要があるのでは、?と感じました。

H9. 10. 28 研修会開催

研修(会計処理)会に参加して一言!

- ・ 会計に出てくる専門用語や、説明等分かりやすくなった。
- ・ 基本的な部分の説明(項目・仕訳)があり参考になった。
- ・ 気軽に質問が出来てよかった。
- ・ 短時間の中で、初歩から決算まで解りやすい説明でした。
- ・ 次の研修が楽しみです。事務中心の研修等も是非お願いしたい。
- ・ もっともっと勉強して、どんどん質問が出来るようにしたい。
- ・ 説明を聞いて、少しずつではありますが、前に進めたかな?と思います。
- ◎ひじり保育園の桜井先生、泉ヶ丘保育園の渡辺先生ありがとうございました。次回の研修を楽しみにしております。

編集後記

青年部が発足して早くも6年余りがたちました。旧青年部だよりから脱皮して礎へと解明し、21世紀に向けて新たにスタートいたしました。遅ればせながら第1号をお届けいたします。保育園を取り巻く諸問題に、青年保育者として積極的に目を向け今後は、お互いの問題を提起し意見交換することが大切であり、その仲間の輪を誘い合って大きくしていきたいと考えております。これからも青年部通信が第2号・第3号・・・発行できるよう広報委員一同力を合わせ頑張っていきたいと思っておりますので皆様方のご協力宜しくお願い致します。 Y♡Ti♡To

「礎」を振り返ると制度改正やその年の時事ネタなど色々な記事が書かれていました。「礎」2号では、平成10年に「措置」から「委託運営費」に呼び名が変わったことについて書かれていました。「礎」4号では、青年部員によるオーストラリア研修についての視察報告がありました。「礎」8号では、「労働基準法の基本と実務」を研修テーマにした研修報告がありました。

「礎」を読み返している中で、目を引いた「礎」が二つありました。一つ目は、「礎」第1号です。広報委員長として現在「礎」を作成していますが、最初の「礎」を知ること、触れることができた事に感動しました。また、1号からカラーでの発行をしていたことにも驚きました。そして青年部の発会日について書かれていました。ひとりの青年部員として、発会日を知れたことは、大変嬉しく思いました。

二つ目は、平成23年度に発行された臨時号です。この臨時号では平成23年3月11日に起こった東日本大震災について書かれていました。被災地となった県内の保育園に取材を行った内容でしたが、記事から伝わる当時の様子や写真から伝わる危機的状況など、被害の状況が細かく掲載されていました。

(この年度は、臨時号が3回ほど発行されましたが、すべて被災地取材となっております。)

過去の「礎」を読んでいると、当時の青年部員の「情熱」や「思い」が詰まっており、この熱い炎を絶やすことなく残していかななくてはならないという心情が沸々と湧き出てきます。時代は変わっても「保育」に対する思いは今も昔も変わりません。先輩方が残した思いを受け継ぎ、今後とも青年部活動に尽力してまいりたいと思います。

つくば保育園 滝田 昌弘



社会福祉制度構造改革によって、社会福祉の根本理念が憲法25条「生存権」から憲法13条「幸福追求権」へ変わった。これにより措置から利用そして契約へと利用者との向き合い方も変わってきた。選ばれる施設になるために何が必要か、青年部員同士で議論してほしい。
(認定こども園飯沼こども園 理事長 東ヶ崎 静仁 先生)



発会間もない頃の青年部は、園の2代目の先生方が多かったように記憶しています。同じ立場で思いを語り合い、情報を交換して、生き方まで互いに学び合うことができた。いつまでも青年部は続けてほしいと思います。

(認定こども園納場保育園長 萱場 良江 先生)



この記事執筆するにあたってご協力いただいた諸先輩の皆様、大変ありがとうございました。加えて21年間、絶えることなく発行していただいた歴代の広報委員会の皆様に感謝を込めて、礎のこれまでのあゆみを振り返りました。

【「礎」命名について】

平成9年、納場保育園に当時の青年部員が集まり命名した。「礎」の由来：物事の基礎となるもの、これから先に進むのに変わらないもの



(写真提供 はぐる保育園)

好きな事

皆さんはどんな事が好きな子どもでしたか？

今自分が好きなものって、大抵子ども時代から好きだったものが多いんですね。

好みは変わっていくともいわれますが、自分の場合本当に好きな事って大人になっても変わっていないなあって思います。三つ子の魂百までってやつですね。

私は小さいころから木のおいや音が好きで、近所の材木屋や建築中の家（知らない人）の庭などでよく遊んでいました。

今でも、知り合いの大工さんから頂いた木っ端や、山で子ども達と集めてきた木が園庭に積んであって、のこぎり、釘、金槌、鉋を使って工作したり、そのまま積み木で遊んだり、野外炊飯の薪にしたりと、木を身近に感じられる毎日を送っています。

先日も園庭で子ども達と一緒に薪を燃やして焼き芋を作っていた時、周りにいた何人かの子ども達が木っ端を使って自分たちが座るイスを作っていました、完成したその椅子に座っ

て焼き芋を食べながら、「いつもよりもおいしい！」と笑顔で話してくれ、自分も嬉しくなりました。

食べるのが好き、作るのが好き、体を動かすことが好き、勉強が好き、音楽が好き、絵が好き、ポケモンが好き、子ども達には、いろいろな経験を通して、自分の「好き！」をみつけて、世界を広げていってほしいと願っています。

広報委員長より好きな事というお題をいただきましたので、「ラーメン」と迷ったのですが今回は「木」を書かせて頂きました。

私自身ももっと好きな事を見つけていろいろな事にチャレンジしようと思います。

はぐる保育園 柴山 俊行



四コマ保育マンガ

玉里第二保育園 戸田 見良

発表会まであと一週間、…おゆぎの衣装、はなちゃん似合うかな？ ゆうき君、背が伸びてきたからな……。



練習も、楽しんで、くれているかな。



— 発表会当日 —



先生、子どもの成長を感じました。ありがとうございます。じいじも、はあばも喜んでくれて。



串挽保育園 山崎 公蔵

去る、平成30年8月29日に茨城県保育協議会主催による食育研修会が、保育士や栄養士、調理師など「食育」に携わる保育者が大勢参加され盛大に開催されました。

私は研修内容の一つであるパネルディスカッションのパネラーとして参加させて頂きましたが、最初にこのお話を頂いたときに、どのような内容を発表しようか、普段どおりの食育内容にしようか、特別に実施している食育内容にしようか正直悩みましたが、この良い機会に職員の意識を高めるため、普段の保育を振り返るために普段どおりの食育について研究することにしました。そして、私達、保育者にとっての最大の喜び、子ども達の笑顔が絶えないことをテーマに「食べる楽しさ！！輝く笑顔」と題名し進めました。

職員に3つの柱『給食やおやつでのリスクを考える！！』『食事を楽しいと感じられる工夫とは！！』『保健センターや地域との連携』の題材をだしました。

その中で、保育士視点、栄養士・調理師視点に分け、内部研修を行なっていました。

例を一つあげますと、「リスクを考える」では内部研修のなかで、様々な意見が取り交わされ「リスク」には、誤嚥や食器の使い方そしてアレルギーがある。その誤嚥ひとつ想定しても限りなくあり、保育士視点で視ると、口に物を詰め込み過ぎる、早食い、過度のおしゃべり、眠くなりながら食べる。乳児には水分の摂り方などがあり、栄養士・調理師視点では、喉に詰まらないように年齢別に食材の大きさを変えたり、魚の骨を丁寧に抜くな

ど、あらゆる角度から沢山の意見が出て来ました。

普段当たり前のように保育をしているなかで誤嚥だけでも様々なリスクがあることが再認識され、さらに普段おこなわれている配慮以外にも「こんなことが出来る、あんな配慮方法がある」など、子ども達にとってさらにより良い環境で保育が行えるようになりました。

これからも、子ども達の笑顔が絶えまなく、食べる楽しさを伝えられるよう、職員一同一体となり研鑽していきたいと思えます。

食事を楽しく食べられる工夫！！

食べること！！必要な栄養を摂取し健康な身体づくりに欠かせないが、それと同様に「楽しく食べる」ことで「心と体」を育むのに重要である。



ちょっとコラム

「園のガバナンス、コンプライアンス」

認定こども園真壁保育園 長谷川 夏生

年末年始にかけて、ウルトラスーパー超一流企業経営者の逮捕・起訴というおどろくべき話題がありました。

日本を代表するような超一流企業が仮に経営者とはいえ、一個人によって、本当に私物化されていたとすれば、一体に法人のガバナンスというものが、可能であるのか、そればかりでなく、その一流企業は、本当に法人の体をなしていたのか、という疑問がわきます。

株式会社であれば、本来、経営と資本の分離の原則によって、株主総会と取締役会、各取締役が緊張関係をもって会社の運営にあたる訳です。

それでは、保育園や認定こども園のガバナンスはどのようなものなのでしょうか。保育園を経営する主体としては、社会福祉法人、学校法人、宗教法人、株式会社その他、考えられます。

社会福祉法人の経営する園であれば、その運営は第一義的には園長が行います。法人一施設の場合であれば園長は理事に就任し、理事長となっている場合が比較的多いと思います。

理事会は、法人の業務執行を決定し、理事長を選任し、また、各理事の職務執行を監督することが機関としての主たる使命です。園長は理事長であっても、理事であることには変わりありませんので、理事会による監督を受け、または、理事として園長の業務にあたる場合も、やはり理事会の監督を受けることとなります。

理事会が各理事の職務執行を監督する観点からは、適法性（コンプライアンス）と、効率性であるといわれています。理事は、各理事の職務執行の監督をするという観点からは、理事会の構成員に過ぎないという考

え方もあり、理事が単独で他の理事の職務執行の監督をするということではありません。しかしながら、理事は法人との委任関係がありますから、理事会への出席義務があります。また、理事には、理事会を招集する権限がありますから、それら義務を果たし、権限を活用して理事会として各理事を監督することとなります。

次に評議員会ですが、平成29年に施行された、社会福祉法人新制度においては、「評議員会」の名称は同じですが、それまでの評議員会とは性格が全く変わっています。一般財団法人における評議員会とほぼ同じ制度となりました。

一般財団法人の評議員会は、法人の基本財産の——財産だから当然「意思」は持たないのだが——意思を決定する。それでは、社会福祉法人の評議員会の議決機関（意思決定機関）としての目的如何。

社会福祉法人の評議員会の議決事項は、定款の変更、決算の承認、理事監事の選任など、法人の存立に関わる部分に関するに基き、評議員会として議決すべきかという点です。理事の職務執行の適法性や効率性は、理事会において、監督がなされ、また、監事による理事の職務執行の監査も行われていきます。その上で、評議員会として何に基づいて、どのような議決をするべきかということになります。

平成29年の社会福祉法人制度改革においては、一般財団法人にも議決機関としての評議員会が必置なのだから、社会福祉法人にも議決機関としての評議員会が必置であるべきであるという議論でなされたのだから、評議員会がいったい何のために存続するのかという議論はあまりなされなかったように思われます。しかしながら、一般財団法人より更に公益性の高い社会福祉法

人の評議員会が代表するのは、施設（不動産）としての保育園・認定こども園、利用者である子ども及び保護者、そして地域社会の利益でなかるうかと考えられます。（法人職員の利益については、職員の評議員への就任が法律で明確に禁止されていることから、排除される、又は一義的なものではないと考えられます。）

法人の理事としては、自らの選任や解任は評議員会によってなされるという強い緊張関係がある一方で、評議員会としての議決はどのような意思を代表していると言えるのか。一義的に不祥事対応の為に公権力の行使がある訳です。その前段階の自浄作用への期待か。単に意思決定のための機関が分離しているだけか。それだけで良いのでしょうか。

読者諸兄の厳しいご批判をお待ち致します。



PICK UP!

活動報告

公益社団法人
全国私立保育園連盟青年会議
第38回青年会議全国大会
神戸大会



2018年9月13、14日に神戸市の神戸ポートピアホテルに於いて「第38回全国私立保育園連盟青年会議神戸大会」が盛大に開催され、656名もの保育者が全国から集い、茨城県からは6名の方にご参加頂きました。ご参加された先生方、ありがとうございました。

大会テーマ「つなげる」を主題に行政説明、7分科会、情報交換会、情勢報告、そして桂文枝氏を講師にお招きした記念講演と非常に充実した2日間となりました。

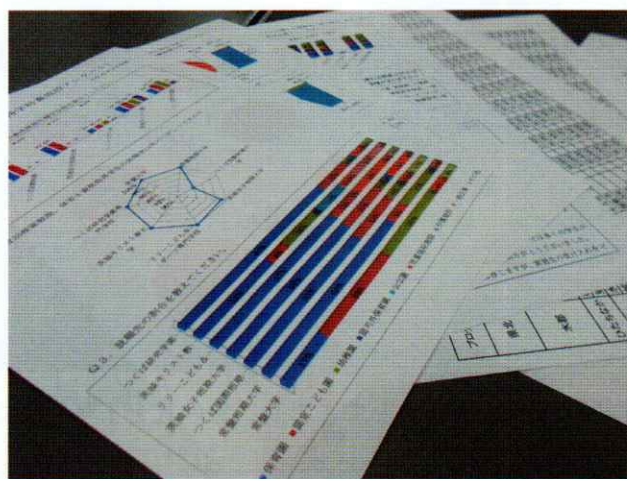
このように時代の転換期に青年保育者が学び合い、語り合えたことは各自の財産になったことと思います。

第39回大会は2019年11月7、8日に横浜市にて開催されます。同じ関東ブロックでの開催となりますので、沢山の皆様のご参加をお願いするとともに、大会報告と致します。

まつやま大宮保育園 松山圭一郎

茨城県民間保育協議会青年部
調査研究委員会

調査研究活動報告



今年度の調査研究委員会は7月（土浦）8月（水戸）で行われた就活応援セミナーのアンケート調査をはじめ、「保育料限度額調査」「茨城県県内養成校アンケート」の調査を行いました。

就活応援セミナーでは、学生へのアンケート、ブース出展の法人アンケートをQRコードの読み取りで行い、ペーパーレス化、結果もすぐにグラフ化できるようになりました。以前、ペーパーアンケート実施の際には、回収率40%程度だったのが、95%以上になったことは大きな成果だったかと思います。

また、セミナーのアンケート結果を広報委員会ご協力のもと、民間保育協議会のホームページへ掲載し、参加した法人、学生だけでなくより多くの方たちへ情報提供することができました。

今年度のアンケート調査では、少子化の進む県北地域で保育料減、又は無料化の傾向が見られたほか、1号認定の利用者負担額の減をしている市町村がみられたことは予想外でした。

養成校へのアンケート調査では、私たち経営者が思っているより、学生さんたちは、「自分が育った地元で就職したい」と考えている学生が沢山いたことは、個人的に今後の大きな励みになりました。

今年度も残りわずかとなりましたが、引き続き委員会活動並びに青年部の一員として、頑張っていきたいと思います。

いばらき中央こども園 雨谷 鉄平

研修報告

茨城県民間保育協議会青年部
渉外委員会

青年部アカデミー in
フォレストアドベンチャーつくば



去る平成30年12月11日つくば市にあるフォレストアドベンチャーつくばに於いて平成30年度青年部アカデミーが20名の参加を持って開催されました。今回の青年部アカデミーは講師をお呼びしてではなく、筑波の大自然が講師となつての体験型研修でした。

フォレストアドベンチャーとは、自然の森林の中で樹の上を移動して遊ぶフランス発祥のアウトドアパークです。専用のハーネスを着用し、定められたルールを守りながら自己責任でコースを進みます。

自分で責任を持つという事は、子どもの自立心を育成させることに大いに貢献しています。ヨーロッパでは、リスクマネジメント能力の開発を目的とした体験プログラムとして高い評価を受けています。大木から大木へワイヤーやネットが張り巡らされており木の上に登ると思った以上の高さで恐怖があります。もし落ちたらと思うとゾッと体が強張りました。その環境の中でいかに安全にコースを攻略していくか考えながら行動することや思っていた感覚と違うことを修正しながら進むこと等様々なことがリスクマネジメントの強化に繋がると感じました。体を使い楽しく学びました。ありがとうございました。

認定こども園大野めぐみ保育園 中西 良環

茨城県民間保育協議会青年部
研修委員会

オンボーディングプログラム



1月25日に研修委員会主催のオンボーディング研修会を行いました。講師には株式会社ネクサス代表の杉村基樹氏を迎え、「新人や実習生に選ばれる職場づくり」を演題として講演して頂きました。

私自身オンボーディングという言葉は今まで馴染みがなかったのですが、船や飛行機に乗っている状態を表す「On-Board」から派生した造語で、新しいメンバーを乗組員として迎え入れることから来ているそうです。

以前は自園でも新入職員を受け入れるときには、仕事や保育の内容を教え覚えてもらうという一方的なものが中心でした。しかし若手の価値観やライフスタイルの変化もあり指導スタイルが時代に合わなくなってきていることもあり、受け入れ態勢を見直し人材を採用、育成、定着させる丁寧な仕組みづくりが必要であると分かりました。

その中で重要な要素として、自分が組織の役に立っているという自己効力感、職場で自分らしくいられる状態が確保されているという心理的安全性、チームの一員として存在が肯定されている状態である組織の調和だそうです。リーダーのスタイルもトップが決断する従来の指導型から、職員みんなで考える調和型のリーダーが求められるようになり、職員が自分の意見を持ち、より主体的に保育を行っていくスタイルに変化しているということでした。自園を振り返り、若手職員が自分の立場を守られ、保育について自由に意見を言い合える環境であるとはまだまだ言えない状態なので、今後は職員一人一人が自分をもっと発揮できるよう考えていきたいと思えます。

最近では採用や新人職員の育成、定着には悩むことも多かったのですが、今回のオンボーディング研修は本当に勉強になることばかりでした。従来の考え方から切り替え、社会の変化に素早く対応することが今後の職員育成には重要であると感じました。新しい乗組員に乗ってもらえる保育園という船になれるよう頑張りたいと思います。

つばさ保育園 河野 明子

ことわざ／四字熟語

SPORTS

HEALTH

MUSIC

IDIOM

LIFE

BOOK

ART

今年「AI」元年？しかし…、

人間の心の原型は昔も今もひとつ。

今こそ「ことわざ／四字熟語」に先人の軌跡を学び、その豊かな滋味を会得しよう。

ことわざ

初心忘るべからず

物事を始めた当初の謙虚な気持ちや、新鮮な感情を忘れてはいけない。

思う念力岩をも通す

どんなことでも、一心に思いをこめてことに当たれば、できないことはない。

聞くは一時の恥聞かぬは一生の恥

知らないことは恥をしのんでも積極的に聞いた方がよい。

知恵と力は重荷にならぬ

知恵と体力はいくらあっても邪魔にはならず、あり過ぎて困ることはないのだから、あればあるほどよい。

人間万事塞翁が馬

人生の禍福・幸不幸は変転して定まりのないものである、というたとえ。昔、翁の馬が隣の国に逃げてしまった。その後、その馬が隣国の名馬を連れて帰って来た。翁の子が喜んで乗っていると、馬から落ちて足に負傷した。一年後に隣国が攻め込んで来た時、国中の若者は皆戦いに出て戦死したが、翁の子は足を引きずっていたために、兵役を免れて無事であった、という故事による。

魚心あれば水心

魚に心があれば、水にもそれに応ずる心があるの意。もと「魚、心あれば、水、心あり」の形だったもの。転じて、相手が好意を持たば、こちらもそれに応ずる用意があることをいう。

石の上にも三年

冷たい石の上にも、三年すわり続ければ暖まる。つらくてもがまんして続ければ、必ず成功する。しんぼう強く根気よく勤めることが大切、という意。

親の小言となすびの花は、千に一つも無駄がない。

茄子にはむだ花がなく、花が咲くと必ず実がなるように、親子にする意見には決してむだがない。「冷や酒と親の意見は後で効く」とも。

百聞は一見に如かず

人から聞いた情報より、自分の目で実際に見たり体験したほうが確実。

四字熟語

温故知新

前に学んだことや昔の事柄をもう一度調べたり考えたりして、新たな道理や知識を見出し、自分のものとする。古いものをたずね求めて新しい事柄を知る。

猪突猛進

目標に対して、向こう見ずに突き進むこと。

雲外蒼天

試練を乗り越えていき、努力して乗り越えれば快い青空が望めるという意味。

以心伝心

言葉や文字を使わなくても、考えていることがお互いにわかること。

諸行無常

この世にあるすべてのものは、絶え間なく移り変わっていき、変なものはないということ。

和顔愛語

なごやかな笑顔とやさしい言葉。人に接するときは柔和な表情でやわらいだ笑顔を示し、親愛の情を込めたおだやかな言葉で話す、気遣いや心配り。和顔軟語とも。

一意専心

他に心向けず、その事だけに心を用いること。

先憂後楽

人の上に立つ者は、天下の人々が憂える前に心配し、天下の人々が楽しんだ後に楽しむべきだということ。為政者の心構えをいうことば。

運否天賦

運を天に任せること。運がよいか否かは、天が定めるものであるということ。「運賦天賦」「運符天符」とも書く。

現状維持

キープするためにはもっと努力が必要という意味、諸行無常に抗う様子。

絵本/Picture book

SPORTS

HEALTH

MUSIC

IDIOM

LIFE

BOOK

ART

牛久みらい保育園 中村康範

園で、家庭で、こころをそだてる
絵本のたのしみ…♪



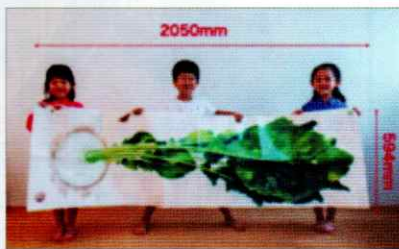
日本昔ばなしアニメ絵本シリーズ

昔から語り継がれてきたお話として、子どもたちへ伝えていきたいと思っています。毎月の誕生会で大きなスクリーンを使って読み聞かせをされていて、季節に合わせて、その時期らしいお話を選んで読み聞かせています。お話によっては鬼が出てきたり、いじわるをして痛い目に合う場面などは子どもたちにとっては怖いことかもしれませんが、自然や見えないものへの畏怖、畏敬の気持ちを持つこと、心の育ちも大切にしています。

イラスト：難波 高司 他 出版社：永岡書店

Big Book おおきなかぶ/ The Giant Turnip

一見するとイラスト作品のような？広げると一枚の大きなかぶの絵が出てきます。まるで本物のようなかぶにも圧倒されますが、その周りにはもぐらやスズメ、葉っぱには毛虫や小さなてんとう虫など、子どもたちがつつい探したくなるようなワクワクする仕掛けも。子どもたちが引っ張っても破けない紙なのでお部屋で「うんとこしょ、どっこいしょ！」と参加型、体験型で読むことができます。保育園のエントランスの床に貼りつけておくと、子どもたちは大喜び、「おおきなかぶ～！」と保護者と一緒に楽しんでくれました。



作・絵：藤本 真央 出版社：青幻舎



ちよっとだけ

私が保育園で働き始めた時にある先生に勧められて読んだ絵本です。赤ちゃんが生まれてお姉ちゃんになったなっちゃん、今まではママにしてもらっていたことも、ママは赤ちゃんのお世話で手が回りません。何とかできるように頑張る姿、“ちよっとだけ”できた時の少しホッとしたような、得意げな、でも少し寂し気な表情。そんななっちゃんのことをお世話で忙しいママはしっかりと見てくれていて、最後は“ちよっとだけ”ではなく“いっぱい”だっこしてくれます。まだまだ気持ちを言葉にして表せないなっちゃん、また、なっちゃんのお気持ちを受けとめ応えてくれるママ、とても温かい気持ちになります。鈴木永子さんの優しい絵にも引き込まれます。

作：瀧村有子 絵：鈴木永子 出版社：福音館書店

平成30年度 茨城県民間保育協議会青年部 組織図

歴代青年部長	
初代	小林 正男
2代目	山崎 進
3代目	東ヶ崎 静仁
4代目	川崎 誠
5代目	渡辺 信行
6代目	大谷 隆
7代目	細田 峰彰
8代目	藤崎 貴英

青年部長
国分台ふたば保育園 柳澤 克彦 民保理事

相談役 前部長
北浦こども園 藤崎 貴英

副部長 日保協担当
富士見ヶ丘認定こども園 川又 朋子 民保理事
日保協担当
大宮聖愛保育園 後藤 貴哉

副部長 私保連担当
まつやま大宮保育園 松山 圭一郎 民保理事
私保連担当
ミーム保育園 萱場 祐友

事務局
事務局長 菊地 涉
境いずみ保育園 事務局長次長
つくし学園 鬼澤 英二
事務局員(会計)
しらはね保育園 田尻 育子

全国出向者(日保協青年部)
富士見ヶ丘認定こども園 川又 朋子
大宮聖愛保育園 後藤 貴哉
あんだんて泉ヶ丘 渡辺 謙

全国出向者(私保連青年会議)
まつやま大宮保育園 松山 圭一郎
ミーム保育園 萱場 祐友

就活応援セミナー実行委員会
実行委員長 清水 利春
たかば保育園 副委員長(事務局)
日の出こども園 塙 信晋
副委員長(会計)
恵泉保育園 藤峰 望夢

広報委員会
委員長 つくば保育園 滝田 昌弘
副委員長 認定こども園 真壁保育園 長谷川 夏生
副委員長 串挽保育園 山崎 公蔵
委員
玉里第二保育園 戸田 見良
中央保育園 香取 秀総
石田保育園 新井 順平
はぐろ保育園 柴山 俊行
清恵保育園 浅井 道浩
牛久みらい保育園 中村 康範
豊浦さくら保育園 佐藤 孝政
(アドバイザー) 後藤 貴哉

調査研究委員会
委員長 いばらき中央こども園 雨谷 鉄平
副委員長 いずみ保育園 中島 崇子
副委員長 認定こども園すずき 鈴木 佳祐
委員
はずみ保育園 木村 有里
海の子保育園 川崎 えりか
わかな保育園 大橋 久絵
ほうとく保育園 桜井 みな
あおぞら保育園 石川 一幸
大和保育園 杉山 康宜
さしま保育園 中川 祐一
しろはと保育園 谷島 宏実

研修委員会
委員長 堀川保育園 堀川 宗愛
副委員長 あんだんて泉ヶ丘 渡辺 謙
副委員長 たけのこ保育園 尾見 泰延
委員
瓜連保育園 小笠原 聖華
おーくす船場こども園 鹿志村 茂
つばさ保育園 河野 明子
ひかり保育園 永田 真裕
なかや保育園 河野 正堯
筑子保育園 中山 天公
小山保育園 逆井 康志

渉外委員会
委員長 認定こども園 大野めぐみ保育園 中西 良環
副委員長 こばと保育園 安藤 伸泰
副委員長 飯沼こども園 東ヶ崎 拓樹
委員
金上保育園 白田 礼治
のぎく保育園 植竹 文人
四季の杜保育園 森川 道成
旭保育園 浅倉 涼二
アリス保育園 卯木 真哉
元吉田さくら保育園 佐藤 聖悟
岩間保育園 柴山 純

- ◇ 広報委員会(各種情報の取材と青年部広報誌「礎」の発行 他)
- ◇ 調査研究委員会(施設経営or運営に係わる各種調査及び研究 他)
- ◇ 研修委員会(視察や勉強会等の研修、企画及び運営 他)
- ◇ 渉外委員会(独自企画によるイベント企画及び運営 他)

茨城県民間保育協議会青年部広報委員会

滝田 昌弘 長谷川 夏生 山崎 公蔵 戸田 見良 香取 秀総
新井 順平 柴山 俊行 浅井 道浩 中村 康範 佐藤 孝政 アドバイザー 後藤 貴哉